

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
令和3年度第6回美里町上下水道事業経営審議会
- 2 開催日時 令和3年12月24日（金）午後2時から午後2時30分まで
- 3 開催場所 美里町上下水道課 2階会議室
- 4 会議に出席した者
 - (1) 委員
金子 浩一委員（会長）
菊池 文夫委員（副会長）
佐々木 豊委員
 - (2) 事務局
課長 櫻井 純一郎
課長補佐 佐々木 聡
課長補佐 安部 貢二
下水道総務係長 田村 太市
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別
議題：令和3年度第6回美里町上下水道事業経営審議会資料について
公開非公開の別：公開
- 6 非公開の理由
該当なし
- 7 傍聴人の人数
なし
- 8 会議資料
令和3年度第6回美里町上下水道事業経営審議会資料

令和3年度 第6回
美里町上下水道事業経営審議会会議録

令和3年12月24日開催

開 会

○上下水道課上水道課長補佐（佐々木 聡） それでは、定刻より若干時間は早いですが、令和3年度、第6回目になります。第6回美里町上下水道事業経営審議会を執り行わせていただきます。会を始めるにあたりまして、本日出席者のご紹介をしたいと思います。役職順不同になりますが、ご容赦願います。まず、私の隣におります課長の櫻井課長になります。

○上下水道課長（櫻井純一郎） 櫻井です。本日はよろしくお願います。

○上下水道課上水道課長補佐（佐々木 聡） その隣、下水道総務係長の田村でございます。

○上下水道課下水道総務係長（田村 太市） 田村です。よろしくお願いたします。

○上下水道課上水道課長補佐（佐々木 聡） その隣になりますが、下水道課長補佐の安部でございます。

○上下水道課下水道課長補佐（安部 貢二） 安部です。よろしくお願いたします。

○上下水道課上水道課長補佐（佐々木 聡） それでは最後になりますが、本日司会を務めます上水道課長補佐、佐々木でございます。よろしくお願いたします。

以上、本日4名でございますので、よろしくお願いたします。なお本日、高橋委員でございますが、所用のため欠席となっております。前回同様、上下水道事業経営審議会条例第6条第2項の規定により、過半数の委員が出席しておりますので、この審議会は成立いたしております。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。まず第1部、令和3年度第6回美里町上下水道事業経営審議会でございます。まず開会のあいさつということで、金子会長様ご挨拶のほどよろしくお願いたします。

○会長（金子 浩一） 本日は最終回というか、第6回で進めてまいりたいと思います。皆さまのおかげを持ちましてほぼ完成案ができています、本日最終確認になるかと思いますが、本日もどうぞ、ご協力お願いたします。

○上下水道課上水道課長補佐（佐々木 聡） 金子会長様、どうもありがとうございました。それでは引き続き、審議事項に入らせていただきます。それでは金子会長、議事進行よろしくお願いたします。

○会長（金子 浩一） それでは、議事進行を務めさせていただきます。次第に従い、進行を進めます。ではまず、2番審議事項（1）美里町上下水道事業経営審議会の答申内容の確認について。事務局様から修正案をいただいております。では、事務局様からご説明のほど、よろしくお願いたします。

○上下水道課下水道総務係長（田村 太市） それでは、前回の審議会の中で修正等のご指摘をいただきました部分を修正いたしましたので、その内容についてご説明させていただきます。まず、3行目です。令和3年度11月8日付けでと諮問日をつけさせていただきました。それで本文のほうでございます。1（1）水道料金の水準について、こちらの最終行です。今後も水道料金の水準について、継続的な検討が必要であると考えているということで、訂正をさせていただきます。次のページをお願いたします。2の第2次美里町下水道事業経営戦略について、こちらの（1）、（2）、（3）の順番を訂正いたしまして、（1）を資金繰りについて、（2）を下水道使用料の水準について、（3）を経費の削減についてということで入れ替えをさせていただきます。もう1ページ、お捲りください。3. 附帯意見、下水道事業の経営健全化について、こちらの最終段落です。「また、下水道使用料の見直しに当たっては、あらかじめ使用者の理解を得られるよう、十分な情報提供に努めること」。この段を追記させていただきます。

ます。最後のページをお開きください。審議経過の4回目のところです。4回目②のところ、第2次美里町下水道事業経営戦略（案）。前回は、下水道の下が脱字しておりまして、修正をいたしました。修正箇所については、以上でございます。

○会長（金子 浩一） ありがとうございます。ただいま、事務局よりご説明いただきました。それでは最終確認について、各委員様から何かご質問などございますでしょうか。

よろしいですか。

（はいの声）

○会長（金子 浩一） 前回は確認したところだと思いますので、ありがとうございます。では引き続き、進めてまいります。

答申の最終確認をしたいと思います。では、事務局様より朗読をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○上下水道課長（櫻井純一郎） では、私から答申案について、朗読させていただきます。着座で読み上げます。それでは、1項目ずつ読み上げますので、何かお気づきの点がありましたら、ご意見をいただきたいと思います。

令和3年12月24日、美里町長相澤清一殿。美里町上下水道事業経営審議会会長、金子浩一。第2次美里町水道事業経営戦略及び第2次美里町下水道事業経営戦略について（答申）。令和3年11月8日付けで諮問があった件について、審議を行った結果、本審議会として意見が集約されたので、下記のとおり答申する。

よろしいですか。

（はいの声）

○上下水道課長（櫻井純一郎） それでは、続けます。記、1 第2次美里町水道事業経営戦略について。（1） 水道料金の水準について。収益的収入の給水収益では、給水人口の減少や節水器具の普及による水需要の低下により減少傾向の推計となっており、今後の経営環境の厳しさを表すものとなっている。

一方、収益的収支全体に目を向けると、計画的な事業執行により着実に利益をあげることができれば、現金預金残高が増加する見込みであることから、現在の水道料金の水準を維持しても、経営の安定化を図ることが可能であると考え。

ただし、災害等を要因とする突発的な費用の支出により、経営状況が悪化する事態も想定されるため、今後も水道料金の水準について継続的な検討が必要であると考え。

○会長（金子 浩一） それでは、（1）まで今やって、よろしいでしょうか。

（はいの声）

○会長（金子 浩一） ありがとうございます。

○上下水道課長（櫻井純一郎） 続けます。（2）経費の削減について。収益的支出では、動力費や受水費といった費目が経費削減の取組みにより減少傾向の推計であるのに対し、修繕費や委託料が増加傾向の推計となっている。

特に委託料については、令和6年度以降大きく増加しており、経営の負担となっている。令和6年度までに委託内容の見直しや職員体制の検討を行うなど、経費削減に向けた取組みが必要であると考え。以上です。

○会長（金子 浩一） よろしいですか。

（はいの声）

○会長（金子 浩一） はい。

○上下水道課長（櫻井純一郎） 続けます。（3）企業債及び建設改良事業について。資本的収入の企業債では、建設改良事業による負担を次世代に先送りしないよう、令和5年度以降の企業債の発行額を対象事業費の95%以下に抑えることで、企業債残高を着実に縮減させる推計となっている。

一方、管路の老朽化により漏水事故が多発している現状を踏まえれば、建設改良事業計画を前倒しすることも検討する必要があると考える。

そのため、毎年度の決算状況を踏まえ、建設改良事業計画の前倒しが可能であるかを検討する必要がある。

○会長（金子 浩一） 各委員の皆さま、よろしいでしょうか。

（はいの声）

○上下水道課長（櫻井純一郎） では、続けます。2第2次美里町下水道事業経営戦略について。（1）資金繰りについて。投資・財政計画における現金預金残高では、令和3年度及び令和7年度以降の現金預金残高が、公共下水道事業と農業集落排水事業の現金預金残高を合算した場合でも、現金不足となる見込みである。これは、企業債償還金の償還財源の不足によるものであるため、償還財源確保のための早急な対策が必要である。以上です。

○会長（金子 浩一） よろしいでしょうか。

（はいの声）

○上下水道課長（櫻井純一郎） 続けます。（2）下水道使用料の水準について。投資・財政計画における収益的収入の料金収入では、公共下水道事業が拡張期にあることから、使用者の増加を見込み増加傾向の推計となっている。一方、農業集落排水事業では人口の減少により減少傾向の推計となっており、農業集落排水事業単独での経営環境の厳しさを表すものとなっている。

収益的収支全体に目を向けると、公共下水道事業及び農業集落排水事業ともに、一般会計からの地方公営企業繰出金で収支均衡が保たれている状況であり、特に農業集落排水事業においては、下水道使用料で賄えない維持管理費を、一般会計からの基準外の地方公営企業繰出金で賄っている状況であることから、現在の下水道使用料の水準では、事業の継続が困難であると考え。

早急に下水道使用料の見直しを検討する必要があると考える。

○会長（金子 浩一） ここまで、よろしいでしょうか。

（はいの声）

○上下水道課長（櫻井純一郎） 続けます。（3）経費の削減について。投資・財政計画における収益的支出では、動力費については減少傾向の推計となっているのに対し、委託料等の維持管理経費が増加傾向の推計となっている。

下水道使用料の見直しを検討する上でも、経費の削減は重要な課題であることから、動力費だけではなく、委託内容の見直しを行うなど、経費削減に向けた取組みが必要であると考え。以上です。

○会長（金子 浩一） よろしいですか。

（はいの声）

○上下水道課長（櫻井純一郎） 続けます。3付帯意見、（1）経営状況の把握と課題の検討に

ついて。水道事業及び下水道事業ともに、人口減少、施設の老朽化、災害リスクの高まり等が共通の課題となっており、経営の健全化・効率化の取り組みが求められている。

そのため、本経営戦略の策定後も、PDCA サイクルにより、毎年度の決算状況を反映させ計画と実績の乖離の分析を行うとともに、現在の水道料金及び下水道使用料の水準が適切であるか、建設改良事業計画の進捗状況は順調かを確認するなど、経営状況の把握と課題の検討を定期的に行うこと。

○会長（金子 浩一） よろしいですか。

（はいの声）

○上下水道課長（櫻井純一郎） 続けます。（2）下水道事業の経営健全化について。下水道事業の経営戦略では、令和3年度及び令和7年度以降の資金収支が現金不足になる見込みであるなど、経営健全化の取り組みが必要である。

下水道使用料の見直しや一般会計からの支援のあり方について取りまとめた経営健全化計画の策定を早急に行うこと。

また、下水道使用料の見直しに当たっては、予め使用者の理解を得られるよう十分な情報提供に努めること。以上でございます。

○会長（金子 浩一） よろしいでしょうか。

（はいの声）

○会長（金子 浩一） ありがとうございます。それでは改めまして、全文確認できました。全体、こちらでよろしいでしょうか。

（はいの声）

○会長（金子 浩一） では、この内容で答申を行いたいと思います。事務局様には、文書の提案と作成をお願いしたいと思います。

では、審議は以上になります。進行を事務局様にお返しいたします。

○上下水道課上水道課長補佐（佐々木 聡） 金子会長様、皆さまありがとうございました。それでは、次第3に移らせていただきます。閉会でございます。

第6回審議会について、以上をもちまして終了となります。ありがとうございました。

上記会議の経過は、美里町上下水道課長 櫻井純一郎の調整したものであるが、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名いたします。

令和 4 年 2 月 18 日

会議録署名委員 金子 浩一

会議録署名委員 菊池 文夫